

Dr.M'zの京都紀行 その三

今回は東寺の『慶賀門』から始めよう。



この東寺は794年に平安京へ遷都した際
羅城門の東西に造営された大寺の一つである。

現在の京都は御所をはじめとして大部分が東へとずれて
しまっているが、この東寺は元の場所に残っており
一級史跡として指定されている。

東寺の境内を紹介していこう。

まずは『大師堂(御影堂)』



ここには弘法大師像と不動明王像が祀られてあるため
弘法大師信仰の中心となっている御堂である。

どちらの像も国宝に指定されているが
特に不動明王像の方は秘仏になっているため
一般観光客は拝観することができない。

次は『講堂』



この講堂は弘法大師によって着工され
中には大師の密教の教えを表現するための立体曼荼羅が
安置されている。

五菩薩、五大明王、四天王、梵天、帝釈天の
計21体の仏像は圧巻である。

しかし、中は写真撮影禁止のため、
ぜひその目で確かめて欲しい。

最後は『五重塔』



この塔は826年に創建されたが、四回の焼失に遭った。
その後、徳川家光によって再建された現在の五重塔は
現存する古塔で最高の55mの高さである。

その細部の装飾や彩色は江戸時代初期の
素晴らしいものなので、ぜひその目で確かめてみて欲しい。

さて、最後に『五重塔』の写真で締めくくろう。



では、また次の機会にお会いしよう。